１学年だより「凡事徹底」

2023年４月２１日
練馬区立石神井西中学校　第１学年
No.3

「自由」について

学校生活が始まり、２週間が経とうとしています。元気のよいあいさつから始まり、笑顔で下校していく様子を見ていると、一人ひとりの充実ぶりが感じられます。学年の先生方もはじめのうちは手取り足取り、一つひとつのことに声をかけ、支援しています。一方、小学校のときのように、先生がクラスでのすべての出来事を見るのではなく、一年生の皆さんの中学生としての判断に任せる部分があります。ときには先生の教えを待っているだけでなく、クラスの仲間と相談し合う中で学校生活を乗り切っているところもあるはずです。お互いに支え合う姿勢は今後も続けてほしいのです。

さて、いい意味で緊張もほぐれてきたところではありますが、ここでもう一度、石神井西中学校の伝統のひとつである「自由」について考えを巡らす必要があります。「自由」と辞書で調べると「他から制限や束縛を受けず、自分の意志・感情に従って行動すること。またその様子。」（新明解国語辞典より）とあります。英語では「freedom」や「liberty」という単語があり、かの福澤諭吉が「自由」と名付けたそうです。

石神井西中学校の生徒は、誰かから制限を受けるのではなく、自分たちの意志のもと、落ち着いた学校生活を送っています。先輩方は特に、「自由」を「自分たちの好き勝手にしていい」と解釈してはいません。そこにはしっかりと石神井西中生としての「責任」が伴っていることを知っているからです。例えば、私服は「自由」だからといって、何を着てきてもよいというものではありません。物事には必ず理由があるものです。学校には、多くの来校者がいます。ときには、他校の先生や、３年生の進路のために高校の先生が訪れることもあります。そんなときに、例えばあまりに短い丈のスカートや、デザイン性に特化したダメージジーンズ、華美な飾りの付いた髪留めなどが、中学生らしいさわやかな印象を与えるでしょうか。学校に来校される方は特に「あいさつが素敵な生徒たちばかりで気持ちいいな」「私服だけれど、落ち着いた中学生らしい雰囲気で、学校生活を送れているようだな」などのように、その人としてではなく、「石神井西中生」としての印象をもつものです。今後も自分自身をしっかりと見つめ、２年生、３年生、そして卒業生の方々が築き上げてきた「自由」の精神を１年生にも正しく受け継いでほしいと願っています。

西中伝統のサクセス＆カノン

先週は２年生、３年生との合同体育がありました。２年生からは「サクセス」、３年生からは「カノン」というダンスを教わりました。このダンスは石神井西中の伝統のひとつで、運動会において全校生徒で披露される演目です。初めての先輩との交流で緊張している様子も見られましたが、一生懸命見よう見まねで踊っている１年生の姿が微笑ましかったです。先輩方の教え方も丁寧で、たった１時間の授業でしたが、どんどん上達していく姿が印象的でした。

その場で先生から依頼されたにも関わらず、素敵なお礼のあいさつを言えました！素晴らしい！！

学校生活の様子

校内巡り！どんな教室かな？

自己紹介　みんなよろしく！

早くみんなの名前を覚えよう！

西中紹介　吹奏楽部の大迫力の演奏

先輩かっこいいなあ

華麗にスパイク！

避難訓練もまじめにできました

校庭に出たら走って避難

整美委員による雑巾の準備

図書室ガイダンス

班活動　班の役割分担決め

初めての給食！配膳も協力！

（4/24～4/28の

主な予定）

24日(月)	生徒会朝礼(認証式)①学　学級討議　②～⑥各授業
25日(火)	①～⑥各授業　　仮入部最終日
26日(水)	①～④各授業　⑤道
27日(木)	耳鼻科検診　①～④各授業　　午後1学年保護者会
28日(金)	①～⑤各授業　　⑥総